

部分床義歯補綴学Ⅱ

責任者名：月村 直樹

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：講義

◆担当教員

月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)

大谷 賢二(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)

大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)

秋田 大輔(歯科補綴学Ⅱ 助教)

安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)

◆一般目標 (GIO)

歯列の部分欠損に対する治療法の一つとして部分床義歯を選択するために、補綴治療としての臨床的意義と方法を理解する。

次に部分床義歯の製作方法について理解し、場合によって用いられる特殊な義歯やアタッチメントについても理解する。

◆到達目標 (SBO s)

- ・部分床義歯の設計原則を述べることができる。
- ・部分床義歯の治療過程において、診療室と技工室で行うことを列挙できる。
- ・部分床義歯に用いられる材料について説明できる。

◆評価方法

前期は毎回行う授業後の平常試験 (30%) と2回の間隔振り返り (平常) 試験 (20%) と1回の総括のための平常試験 (50%) で評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
月村 直樹	木曜日 17:00~18:00 歯科補綴学第Ⅱ講座医局	tsukimura.naoki@nihon-u.ac.jp	
大谷 賢二	木曜日 17:00~18:00 歯科補綴学第Ⅱ講座医局	ootani.kenji@nihon-u.ac.jp	
大山 哲生	木曜日 17:00~18:00 歯科補綴学第Ⅱ講座医局	ohyama.tetsuo@nihon-u.ac.jp	
秋田 大輔	木曜日 17:00~18:00 歯科補綴学第Ⅱ講座医局	akita.daisuke10@nihon-u.ac.jp	

安田 裕康	木曜日 17:00~18:00 歯科補綴学第II講座医局	yasuda.hiroyasu@nihon-u.ac.jp	
-------	---------------------------------	-------------------------------	--

◆授業の方法

スライドを用いて授業を行う。講義後に振り返りの平常試験を毎回行う。

【実務経験】月村直樹：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での30年以上に渡る経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技がいかに実際に活かされるかについて基礎全般を中心にスポーツ歯科についても教育したいと考えています。

大谷賢二：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での30年以上の経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技、特に義歯が破折した場合の修理法やその問題点について教育したいと考えています。

大山哲生：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での30年近くの経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技、特にインプラントや、顎顔面補綴など多岐にわたる補綴の重要性について教育したいと考えています。

秋田大輔：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技、特に人工歯の選択や排列方法について理解させることを考えています。

安田裕康：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技について事細かに理解させたいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	スタンダードパーシャルデンチャー補綴学	藍 稔, 五十嵐順正 編	学建書院	2016
配布プリント				
参考書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	全国歯科技工士教育協議会	医歯薬出版	2018
参考書	歯科補綴マニュアル	新谷明彦, 石上友彦, 森戸光彦	南山堂	2006
参考書	パーシャルデンチャーテクニック	五十嵐順正, 石上友彦, 大久保力廣, 岡崎定司, 馬場一美, 横山敏郎	医歯薬出版	2013
参考書	要説スポーツ歯科医学	石上恵一, 上野俊明, 川原美佐雄, 前田芳信, 安井利一編	医学情報社	2015

◆DP・CP

[DP1]コンピデンス：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観 コンピデンス：医の尊厳を理解し，法と倫理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知識を修得できる。

[DP3]コンピデンス：論理的・批判的思考力 コンピデンス：多岐にわたる知識や情報を基に，論理的な思考や批判的な思考ができる。

[CP1]歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し，社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に，論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4]歯科医学の基礎知識を体系的に習得し，臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

予習については，必ず事前に教科書を読んで，授業内容の目的を理解しておく。毎回フィードバックとして，平常試験の結果についての解説を行うので，その内容を各自復習して理解度を深める。

◆準備学習時間

各々授業時間の2倍相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

4年生前期総義歯補綴学，Ⅰ後期総義歯補綴学Ⅱ，4年生前期架橋義歯補綴学，4年生後期固定性義歯補綴学，4年生後期顎機能分析学，4年生後期顎機能分析演習

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		9.11	6	1. 連結装置の機能と義歯床の要件 (教)pp.81-86 *土曜日(9/5)	・大連結子の種類や機能について述べるができる。 ・連結子の形態と製作方法について述べるができる。 ・義歯床の役割や要件を説明できる。	月村 直樹	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。
2		9.18	6	2. 部分床義歯の咬合 (教)pp.151-166 金属床義歯 (教)pp.90-91,pp.168-174	・一般的な下顎運動について説明できる。 ・部分床義歯における咬合を説明できる。	月村 直樹	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ③ 可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。

3		9.25	6	3. 金属床義歯 (教)pp.90- 91,pp.168-174	<ul style="list-style-type: none"> ・金属床義歯の利点, 特徴およびメタルフレームの製作法について述べることができる。 ・金属床義歯製作の臨床手順を説明できる。 	大谷 賢二	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑦ 歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。⑧ 調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。
4		10.2	6	4. 人工歯の種類, 特徴および排列法 (教)pp.175-181	<ul style="list-style-type: none"> ・人工歯の排列は, 咀嚼機能の回復に大きな影響を与えるので, その基本的知識および排列法について述べることができる。 ・人工歯の種類について列挙できる。 	秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑨ 人工歯の選択を説明できる。
5		10.9	6	5. 歯肉形成と義歯研磨面 (教)pp.181-183 pp.182-183	<ul style="list-style-type: none"> ・歯肉形成を行う意義とその形成法を説明できる。 ・デンチャースペースについて述べることができる。 	月村 直樹	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑫ 可撤性義歯の製作過程を説明できる。
6		10.16	6	6. 部分床義歯の装着と調整	<ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯の機能を十分発揮するため、装着時および装着後の調整項 	月村 直樹	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部

				(教)pp.191-195	目を知り，適正に調整できる方法について説明できる。 ・義歯によって回復された機能および形態を永く保持させるための定期検診の必要性および患者の術後管理の重要性を知り，その具体策と実践法について説明できる。		分床義歯、全部床義歯) ⑬ 可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
7		10.23	6	7. 部分床義歯装着後の対応 (教)pp.197-200	・口腔内の残存組織は常に変化を起こす。その変化によって義歯は不適合となるが，そのまま放置しておくと種々の障害および義歯自体の破損も起こるので，その内容および対応について述べるができる。 ・生体の変化，義歯の変化について説明できる。	秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）① 歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
8		10.30	6	8. 部分床義歯の維持機構（アタッチメントの特徴） (教)pp.75-78 第1回振り返り試験	・アタッチメントの分類，適応症，製作法などについて述べるができる。 ・アタッチメントの長所，短所を列挙できる。 ・磁性アタッチメントについて述べるができる。 ・テレスコープ冠（コーヌスクローネ）について説明できる。	月村 直樹	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）② 可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。
9		11.6	6	9. 義歯修理，その他の義歯（即時義歯，治療用義歯等） (教)pp.208-214,	・義歯の修理法を述べるができる。 ・義歯破損の原因について述べるができる。 ・種々の目的を持つ義歯について述べるができる。	大谷 賢二	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）⑭ 可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。
10		11.13	6	10. オーバーデン	・オーバーデンチャーの特徴を列挙	月村 直樹	E-3-4)-(2) 可

				チャー (教)pp.215-216	できる。 ・オーバードンチャーの利点, 欠点を を列挙できる。 ・マグネットデンチャーの特徴を述 べることができる。		撤性義歯(部 分床義歯、全 部床義歯) ② 可撤性義歯の 種類、目的及 び意義を説明 できる。 ③可 撤性義歯の特 徴と適応症を 説明できる。
11		11.20	6	11. インプラント 補綴 (教)pp.216-217	・口腔インプラントの概要を述べる ことができる。 ・インプラントの種類を列挙でき る。 ・インプラント義歯について説明で きる。	大山 哲生	E-3-4)-(3) デ ンタルインプ ラント ①デ ンタルインプ ラントの種 類、特徴、目 的及び意義を 説明できる。 ④デンタルイ ンプラントの 治療計画、治 療手順を説明 できる。
12		11.27	6	12. スポーツと咬 合 (教)pp.219-221	・スポーツ歯科の概要を述べるこ とができる。 ・口腔内外の外傷に対してマウスガ ードの有効性について説明できる。	月村 直樹	E-2-4)-(11) 口腔・顎顔面 領域の機能障 害 ①咬合異常 による障害と 咀嚼障害の原 因、診察、検 査、診断及び 治療方針を説 明できる。 E-2-4)-(2) 外 傷 ①外傷の種 類、特徴及び 治癒過程を説 明できる。 ② 外傷の治療方 針(治療の優 先順位)を説

							明できる。
13		12.4	6	13. 顎顔面補綴 (教)pp.219-221	<ul style="list-style-type: none"> ・顎顔面補綴の概要を述べることができる。 ・顎義歯の目的について述べることができる。 ・顔面補綴の概要を説明できる。 	大山 哲生	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）① 歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。
14		12.11	6	14. 総括 第2回振り返り試験	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業の総復習を行い、部分床義歯装着までの流れについて説明できる。 	月村 直樹	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）① 歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。
15		12.12	6	15. 1年間の授業の総括の平常試験	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業の総復習を行い、歯の欠損に対する部分床義歯の役割について詳細に説明できる。 	月村 直樹	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）① 歯の欠損、顎

							骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。
--	--	--	--	--	--	--	--

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
補綴Ⅱ	1195	大谷 賢二
	1206	月村 直樹
	1239	大山 哲生
	2696	秋田 大輔
	2969	安田 裕康